

2 季節と生物②春（指導時期5月・7時間）

★：その学年で特に育成を目指すべき問題解決の力を意識した内容です。

◆：その時間で学習する活動内容です。

単元の目標

動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらを関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。

- 動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。
- 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。
- 身近な動物や植物について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、季節ごとの動物の活動や植物の成長の変化について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現すること。

小単元	時	学習内容	観点別評価規準例
1 1年間の観察	1	○春の始まりの生物の様子を観察して、気付いたことを話し合う。	【態度】 春の身近な動物や植物についての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
	2	○生物の様子は、季節によってどのように変わっていくのか、予想する。 ★ 予想しよう ○水温の測り方を知る。	【思・判・表】 身近な動物や植物について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
2 春の生物のようす	3 4	○気温と動物の様子を調べる。 ◆ 観察1 ○気温と植物の様子を調べる。 ◆ 観察2	【知・技】 春の身近な動物の活動について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉

		<p>【知・技】</p> <p>春の身近な植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>〈行動観察・記録分析〉</p>
5	○種をまく。	<p>【知・技】</p> <p>春の育てている植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>〈行動観察・記録分析〉</p>
6	○気温と育てている植物の様子に関	
7	係を調べる。 ◆ 観察3	

【準備物】

棒温度計、輪ゴム、ステープラ（ホチキス）、画用紙、観察カード、色鉛筆、クリップ付きボード、虫眼鏡、ものさし、双眼鏡、動物図鑑（昆虫、水の生物など）、植物図鑑、園芸図鑑、タブレット、種（ツルレイシやヘチマなど）、牛乳パック（500 mL）、はさみ、土、麻紐ネット、麻紐、支柱、スコップ（大型）、移植ごて、作業用手袋、じょうろ、〔育苗用ポット〕